

【専門医派遣41】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立宇久高等学校

| | | | | |
|-----|--|------------------|--------------|--------------|
| 実施日 | 令和5年12月11日(月) | | | |
| 場 所 | 長崎県立宇久高等学校 図書室 | | | |
| 講 師 | 長崎大学病院 産科婦人科 重松 祐輔 氏 (産婦人科医) | | | |
| 形 態 | ・講話 ・職員研修 ・その他() | | | |
| 参加者 | 生徒 (3) 学年 (11) 人 | 学校職員 (14) 人 | 保護者 () 人 | その他 () 人 |
| | テーマ【 大人になる前に知ってほしい生と性 】 内容(具体的に) ・月経についての正しい理解 ・性別違和についての正しい理解 ・恋愛についての正しい付き合い方 ・妊娠について今、将来を見据えて考える ・性感染症についての正しい予防 ・子宮頸がんについての知識 | | | |

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・生理痛は我慢すべきではない。薬(痛み止め)を飲むことは悪いことではない。男子には女性だけが担っているこの生理(月経)を理解してほしい。
- ・性は多様でいい。性的マイノリティは異常ではない。ひとりで悩まずに、精神科、婦人科、泌尿器科などで相談を。また、そのような人と出会った際は、理解してほしい。
- ・妊娠、出産は素晴らしいこと。でも、今、高校生のあなたやあなたの彼女が妊娠してしまったらどうなるか考える必要がある。女性はいつ出産するかをよく考えてライフプランをたてること。男性は、結婚したらパートナーの女性のライフプランを叶えられるよう協力することが大切。
- ・性感染症を防ぐためにも、性行為を行う際は、自分と相手の両方の健康に責任を持つ必要がある。
- ・昨年度より子宮頸がんワクチンが再び推奨されている。また、20歳を越えたら、2年に1回は子宮頸がん検診の定期受診を。
- ・生徒の多くが、普段はなかなか聞くことのできない性に関する講話であったため、正しい知識を得ることができたという感想が多くあった。また、相手の人生や気持ちを尊重し、お互いを大切に思い合える付き合いができるよう、考えて行動していきたいという感想も見られた。

【専門医派遣42】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立国見高等学校

実施日 令和 5年 12月 18日(月)

場 所 各クラス教室

講 師 医療法人慈眼会 坂本医院 関本 眞由美 氏 (産婦人科医)

形 態 講話

| | | | | |
|-----|----------------|----------|---------|------------|
| 参加者 | 生徒 (全) 学年 | 学校職員 | 保護者 | その他 () |
| | (148) 人 | (20) 人 | (0) 人 | () 人 |

テーマ【 思春期って何だろう？性って何だろう？ 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ・多様な性と男女の体の変化
- ・妊娠と出産
- ・避妊
- ・性感染症

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

(講師より)

- ・性についての悩みは、人と比べられないので、相談していいということ。
- ・互いに興味を持ち、好きになり、付き合うということ、エッチなことを考えたり触れたりするなどということの良いこと・普通のこと
- ・10代の性交渉・妊娠・出産について考えさせたこと。どうしても女性にハンディがあることを伝えた。

(生徒より)

- ・男女それぞれパートナーを思いやりたいという感想が多かった。男子生徒が多いので、女性のからだのこと・月経・妊娠出産・女性ができる避妊法・女性の方がリスクが高いという知識が知れてよかったという感想が多かった。